



## 鹿沼市運行バス、生涯無料、 運転免許返納者対象について



「14日鹿沼市は、65歳以上の運転免許返納者に市のリーバスと予約バスの『終身無料乗車券』（仮称）を交付すると発表したそうですね。（現在は1年間の無料乗車券の交付）過去に免許を返納した人も対象にするそうですね。日本共産党はどんな地域公共交通政策ですか？」との声が寄せられましたのでご紹介します。又、Aさんからもこの件についてのコメントが寄せられましたのでご紹介します。

### 日本共産党の地域公共交通政策（16参院選政策より）

住民の足を守るため交通・移動の権利を保障する

交通・移動の権利は、日本国憲法が保障した居住・移転の自由（第22条）、生存権（第25条）、幸福追求権（第13条）など関連する人権を集合した新しい人権です。国民が安心して豊かな生活と人生を享受するためには、交通・移動の権利を保障し行使することが欠かせません。

地域公共交通の衰退を止め、維持確保改善することは、もはや、事業者任せにできません。国と地方公共団体など行政府が、財源の補助を含めて努力すべきです。そのための「財源」の確保や「行政の不作为」などの責任を放棄させないためにも交通・移動の権利を保障することが重要です。

### Aさんのコメント

鹿沼市地域公共交通網形成計画（案）のパブリックコメント（2017年1月）に免許返納者に5年間無料パスを提案していた。5年ではなく終身になった事は嬉しい。今後は、運転免許返納者だけではなく、65歳以上全ての人対象にお願いしたい。幸町2丁目のリーバス路線化も実現したい。

## 6.13 首都圏一斉宣伝

日本共産党鹿沼市委員会は、6月13日（火）7時から8時、JR鹿沼駅前で共謀罪反対、加計学園疑惑追及、都議選勝利の宣伝行動を行いました。

鹿沼東部支部から2名、栗野支部から支部長の大越さんが参加しました。



「改憲、共謀罪、戦争法、森友・加計疑惑究明、自・公・維に審判を」のビラを配布。東武新鹿沼駅前では芳田さん、Wさんが宣伝行動を行いました。



# 日光市、複数回の 申請可能に

# 住宅リフォーム 店舗リニューアル 助成制度

# 仕事おこして街を元気に

下記比較データは  
鹿沼市建築課住宅  
係、日光市建築住宅  
課建築指導係からい  
ただきました。

## 鹿沼市・日光市住宅リフォーム助成比較

年度		鹿沼市			日光市				
西暦	和暦	件数	助成金	予算	件数	助成金	予算	波及効果金額	波及効果倍
2010	平成22年	2	25	0					
2011	平成23年	413	22,499	3,000					
2012	平成24年	118	7,506	5,000	118	9,000	10,000	266,000	29.6
2013	平成25年	102	8,479	5,000	115	9,900	10,000	265,000	26.8
2014	平成26年	90	7,279	5,000	135	17,000	21,000	417,000	24.5
2015	平成27年	47	3,607	5,000	159	20,443	22,000	532,000	26.0
2016	平成28年	36	2,794	5,000	158	19,722	22,000	532,000	27.0
2017	平成29年			5,000			22,000		
合計		808	52,189	33,000	685	76,065	107,000	2,012,000	26.5
1件当たり		65			111				
対象工事		20万円以上			10万円以上				
助成率		5%			10%				
上限		10万円			15万円 三世代・75歳以上との同居世帯は20万円				

金額は単位千円

6月12日(月)日光市定例市議会にて、日本共産党の福田えつ子市議は、住宅リフォーム助成の半数が上限額に達していないことに関して、「複数回の申請を可能に」と提案しました。

それに対し、日光市は、利便性向上などを狙い、上限の枠内で申請を複数回できるようにすると回答しました。

2016年度の鹿沼市、日光市の実績が出ましたので比較表を作成しました。両市の差が歴然としています。鹿沼市も日光市同様、市民向けのチラシ作成など、リフォーム助成の効果告知を行うべきです。日光市は経済波及効果(1次、2次)まで試算し、公表をしています。

## 日光市議会常任委員会でも陳情採択

14日、横根山へのメガソーラー建設反対の陳情が、日光市議会産業観光常任委員会で採択されました。

「横根高原の自然を守る日光市民の会」に集約された第2次分の署名3,847筆を、委員会開催前に議長に提出。総数目標の1万筆を超えて、10778筆になっています。

傍聴者約20名が見守る中での採決でした。後は、最終日の本会議での採決となります。

委員会を傍聴する皆さん 福田悦子さん  
フェイスブックより

